

中国語の“偶然”に関するノート

伊藤加奈子

キーワード：偶然性 動作行為 結果補語 特定指示 可能表現

1. 「偶然」とは何か？

この世に起きる事象は全てが偶然によるものである、という考え方がある。また一方、この世界に起きる全ては必然である、という考え方もある。そのいずれが正しいのかは筆者には分からないが、少なくとも人間がある事象について「これは偶然による出来事だ」と感じ取り、それを言語で表出したいという欲求を持っていることは確かであろう。

しかし「偶然」とはどこまでが「偶然」なのか？どのような事象が「偶然」で捉えられる範疇にあるのか？それを考えるにあたって、先ず「これは偶然ではない」と考えられるものを除外する作業から始めてみたい。

a. 自然現象など、恒常的に必ず起こるといことが理解されていること

- ・太陽は東の空から昇る。→*太陽は偶然東の空から昇る。
- ・春になると花が咲く。→*春になると偶然花が咲く。

但し「花が咲く」といった自然現象について述べていることであっても、「何も無かった僕の庭に偶然赤い薔薇が咲いた。」のように、場を限定し且つそこで薔薇の苗を植えるなどの行為を一切しておらず赤い薔薇の花なんて咲くわけがないという前提があれば、「偶然」として表すことは可能になるだろう。

b. 意図・意志性を持つこと

- ・私はスパゲッティを食べたい。→*私は偶然スパゲッティを食べたい。
- ・一緒に買い物に行こう。→*偶然一緒に買い物に行こう。

意志を持って行うことであるから、殊に話者当人の行うことであれば「偶然」と捉えるのは不自然である。但し、

甲：お昼何が食べたい？僕はスパゲッティが食べたいんだけど。

乙：あら、私も偶然スパゲッティを食べたかったの。

のように意志に関することであっても、この世に数多存在する昼食の選択肢の中から二者の求める対象物が事前の相談無しに一致したなどという例は別に考えるべきである。また「指先で偶然触れてみる細い鎖。」のように、小説などで修辞効果を狙って態と意志性の行為に一種矛盾する修飾として「偶然」をぶつけるのも例外と見なす。

c. 「偶然」と見なすだけの価値が無い、さほど珍しくないこと

- ・私も偶然彼と同じ AB 型 Rh マイナスです。→?私も偶然彼と同じ O 型です。
私も彼と同じ O 型です。
- ・私も偶然彼女と同じ 12 月 24 日生まれです。→?私も偶然彼女と同じ 12 月生まれです。
私も彼女と同じ 12 月生まれです。

レアな血液型とされる AB 型 Rh マイナスの持ち主同士であったり、1/365 の確率で誕生

日が一致したということなら「偶然」とも言いたくなるだろうが、ありふれた血液型（例えばO型は日本人において10人に3人の割合で存在すると言われる）の一致を「偶然」で捉えるのはいささか不自然である。仮にこういう場合「偶然」を用い述べようとするのは、話者がそのありふれた一致に特別な価値を見出している（例えば大好きな憧れの俳優と誕生日が同じで嬉しかったりするなど）のであれば可能になるだろう。

ざっと考えてみただけでも上記の a.b.c.は除外できると見ていいだろう。では、それ以外に「偶然」を使って表されることとは何か、そしてここまでは全て日本語についての話であったが中国語の“偶然”でも同じようなことが言えるのだろうか、次にこれらについて話を進めたい。

2. 「偶然」と“偶然”

中国語における“偶然”の説明は次の通りである。

【偶然】事理上不一定要发生而发生的；超出一般规律的。（道理上では必ずしも発生しないことが発生したこと；一般のルールを越えていること。）：～事故（偶然の事故） | 在公园里～遇见一个老同学（公園で偶然昔のクラスメートに会った） 《現代汉语词典》より アンダーラインは筆者による。

【偶然】（形）不是必然的。（必然ではないこと。）

a) 修饰名词，多带‘的’。（名詞を修飾し、多くの的を伴う。）：这是～的错误（これは偶然のミスだ） | 一个很～的机会（あるとても偶然のチャンス）

b) 作谓语时，前面必加程度副词，或用在‘是…的’格式中。（述語になるときは、前に必ず程度副詞を加えるか、若しくは‘是…的’構文の中で用いる。）：这样好的成绩，绝不是～的（これほどの良い成績は、決して偶然などではない）

（副）不是必然地。动词不能是单音节的。必ずしも発生しないことが発生したこと；一般のルールを越えていること。）：～犯了个错误（偶然ミスを犯した） | 隧道施工的时候，～在这里发现了一座古墓（トンネル工事のときに、偶然ここで古い墓が見つかった） 《現代汉语八百词》より

当ノートでは“偶然”の形容詞用法は考察対象から除外し、副詞としての“偶然”を中心に上げるものとする。《八百词》におけるトートロジーめいた「必然ではないこと」という説明は置いておくとして、《現代汉语词典》での“偶然”についての説明文“事理上不一定要发生而发生的；超出一般规律的。”は、実に色んな参考書においてほぼ似たような形で“偶然”の掲載されているページで用いられており、中国語から見た“偶然”の統一見解とでも言えそうなほどである。

一方日本語の「偶然」についてはどうか。

ぐうぜん 〇 【偶然】

（名・形動）[文]ナリ

(1) 何の因果関係もなく、予測していないことが起こること。思いがけないこと。また、そのさま。「一に街で出会う」「一的一致」

(2) [哲] [contingency] 事象の因果系列に対して、それに含みえない事象または因果的に予測できない事象が生起すること。⇔必然

（副）思いがけないことの起こるさま。たまたま。「道で一出会った」

<http://dictionary.goo.ne.jp/search.php?MT=%B6%F6%C1%B3&kind=&kwassist=0&mode=0&jn.x=55&j>

n.y=13 (goo 辞書より)

“在公园里偶然遇见一个老同学”や「道で偶然出会った」、中国語も日本語も似たような使用例が挙げられており、また言うまでもなく日本語で現在使われている「偶然」は漢語由来の語であるから、両者に共通性が存在するのは当然なことと思われるだろう。では「偶然」と“偶然”の間にはどれだけのズレが存在しているだろうか。

たとえば前節にて誕生日や珍しい血液型の一致について「偶然」を用いて表すことについて述べた。もちろんこれは、

1) 私の誕生日は偶然彼女と同じ日だ。

1)' 私の誕生日はたまたま彼女と同じ日だ。

のように「たまたま」と、ほぼ似た意味の副詞で置き換えることも可能である。だがこれを中国語で“偶然”を用いて表そうとすると非文になる。

2) *我的生日偶然跟她的同一天。

2)' 我的生日凑巧跟她的同一天。

“凑巧”は「ちょうどよい、具合がいい」という意味の語である。2)' は「私の誕生日はちょうど彼女と同じ日だ。」のように訳すこともできるだろう。他にも“偶然”を使うと非文とされてしまうが“凑巧”を用いると文が成立するケースがある。

3) 私は偶然／たまたま／ちょうど彼女と同じハンドバッグを買った。

4) *我偶然买到和她一样的提包。

4)' 我凑巧买到和她一样的提包。

これら2) 4) に対するネイティブスピーカーの反応はかなり明確であり、即座に「これは“偶然”ではない」と皆ぶれることなく一致して非文であるとの認定を下す。

日本語では「偶然」であるのに中国語では“偶然”ではない、この違いは果たして何に由来しているのだろうか？2) 4) に共通しているのは「同じ(誕生日／ハンドバッグ)」という要素であるが、しかしここで仮に『中国語における「同じ」は“偶然”でない』と仮説を立ててみても、その解釈は説得力に大いに欠けるだろう。一旦「同じ」から離れて他の例で考えてみよう。

実は「同じ」要素以外にも“偶然”を用いた表現が成立しにくい例が存在する。

5) 僕の投げた雪の球が偶然／ちょうど彼女の体に当たった。

6) ??我扔的雪球偶然打在她的身上。

6)' 我扔的雪球凑巧打在她的身上。

7) (たまたま) テレビのスイッチを入れたら、偶然／ちょうどそのニュースをやっていた。

8) *刚好打开电视, (电视上) 偶然正在播那个新闻。

8)' 刚好打开电视, (电视上) 凑巧正在播那个新闻。

9) 偶然テレビのスイッチを入れたら、そのニュースをやっていた。

10) 偶然打开电视, 电视上正在播那个新闻。

6) 8) はやはり“偶然”は使うことが難しいか非文になる。7) ~10) は複文であるが、同じような意味であるのに8) は非文で10) は成立するところから、単に意味的要素が原因と考えるのはやはり妥当ではないだろう。

6) 8) に共通していることは、“偶然”の後ろに“她的身上”“那个新闻”といった代名

詞・指示詞の修飾がついた特定物を目的語として伴っていることである。“偶然”が成立できる10)の場合は“电视”であり、前方のクローズは「テレビのスイッチを偶然何気なく入れたら」という行為を表している意で、“电视”について特定指示マーカ―は付いていない。

しかしながら、“偶然”の後ろに特定マーカ―を有する目的語が続いても問題なく文が成立する例は実はざらにある。

- 11) 私は昨日駅で偶然／たまたま彼に会った。
 12) 我昨天偶然在车站遇见了他。
 13) 昨日偶然／たまたま彼の財布を拾った。
 14) 我昨天偶然捡到他的钱包。

12) は代名詞“他”、14) は指示詞付きの“他的钱包”が目的語となっているが、人によっては若干違和感を覚えるという意見もあったものの、文の成立には問題ないとする認識でインフォーマントの反応は一致する。

「同じ(誕生日/ハンドバッグ)」は中国語で“偶然”とはならず、特定マーカ―付きの目的語がある場合には“偶然”が成立したりしなかったりという現象は確認された。ではこれらを統一して説明するためにはどんな解釈がなされればよいだろうか。

“偶然”が非文とされる例において、こういう場合は“湊巧”を使うんだとネイティブの指摘を受けるが、もちろん単にその語だけでなく“湊巧”の類義語である“碰巧”“正好”もまた用いられる。いずれも「ちょうど、うまい具合に」といった意味を表す語である。それらを比較して

- 15) 偶然买到了早想买的书(前から欲しいと思っていた本が偶然買えた)
 16) 你要的书, 我碰巧在旧书店看见, 就给买来了

(あなたが欲しがっていた本をちょうど古本屋で見かけたから、買ってきてあげたよ)

15)16)いずれも『講談社中日辞典第二版』より

この16)の日本語訳文は「あなたが欲しがっていた本を偶然古本屋で見かけたから、買ってきてあげたよ」と、微妙なニュアンスの違いこそあるだろうが「偶然」を用いて表すことは問題なくできるだろう。しかし16)の“碰巧”を“偶然”に置き換えると文の成立が難しくなる。

- 16)' ??你要的书, 我偶然在旧书店看见, 就给买来了

15)と16)は、本の入手を望んでいる人物と購入者の違いこそあれど、「(自分が/彼が)欲しがっていた本」を見つけて買ったというごく大まかな点では一致している。そして16)'においては“偶然”の後ろに特定マーカ―付き目的語は続いていない。これらの文は、要望者と購入者の不一致以外、いったい何が異なると言うのだろうか。

ここで仮説として考えられるのは、“偶然”は行為についての偶然性を述べるものであり、それ以外、行為の対象物に焦点を置いた場合やまた動作行為ではない(ex.誕生日や血液型が同じ)事柄についての偶然性を表すことはできないというものである。15)は「偶然入手することができた」その喜びを語る内容であり、16)は「あなたが欲しがっていた本」についてそれを捜し求めていた人物に教えてあげるという内容であり、“在旧书店看见”(古本屋で見かける)という行為そのものに置かれる比重はその対象物に比べ弱いと考えられる。

先に例に挙げた、

3) 私は偶然／たまたま／ちょうど彼女と同じハンドバッグを買った。

4) *我偶然买到和她一样的提包。

4)' 我凑巧买到和她一样的提包。

には確かに“买到”という動作行為＋その結果を示す語を用いているが、肝心なのは「買った」行為そのものより、二人で何ら相談も、示し合わせることをすらししていないのにまるでお揃いかのような同じハンドバッグ（＝買うという行為の対象物）を手にするようになってしまった驚きを述べていると解釈できよう。

11) 私は昨日駅で偶然／たまたま彼に会った。

12) 我昨天偶然在车站遇见了他。

13) 昨日偶然／たまたま彼の財布を拾った。

14) 我昨天偶然捡到他的钱包。

これらの例はインフォーマントによって言い難いかもしれないという反応が一部あったと先に述べた。実際人によっては「？」シングルクエスチョン程度には成立し難いという意見もあった。しかし同じ人物に日を改めて同じ内容で確認を求めるとまた反応に差が見られるなど一定しない面があり、そして概ねの傾向としては文として問題なく成立できるという回答が得られたものである。しかしこの成立度合いに対するインフォーマントのゆれは、動作に対する偶然性と見るか、行為の対象（人／物）に焦点を当てて偶然性を考えるか、その解釈の差が反映された結果ではないかと筆者は考える。

日本語の「偶然」と中国語の“偶然”、実際比較して考えてみると、「偶然」のカバーする範囲は“偶然”のそれに比べ相当広く緩やかなものであると言えるし、“偶然”は使用するに当たってクリアしなければならない条件（“偶然”は行為の偶然性を表すという仮説）が日本語のそれよりもきつく、カバーしきれない分はその他「ちょうど」を表す“凑巧”“碰巧”“正好”といった語彙が補っていると考えられる。

このように日本語と中国語を比較して考察すると、それぞれの言語において考えられている偶然性とでも言うべき物は、一見似ているように見えながらも実は相当の違いがあると思われる。日本語の緩やかな「偶然」で括られる中に含まれる中国語の“偶然”そして“凑巧”“碰巧”“正好”といった語は、日本語ネイティブの目から見れば似ていると映るのであるが、中国語においてはそういう感覚はないようである。例えば類義語辞典で“偶然”に類するものとして取り上げられるのはほぼ決まって“偶尔”であり、「ちょうど」タイプの副詞と比されることはない。

【偶尔】间或，有时候。“偶尔”也作“偶而”，跟“经常”相对。（ときおり、ときどき。“偶尔”は“偶而”とも書き、“经常”と対応するものである。）如：

看得见在那树丛里还有偶尔闪光的露珠，就象在雾夜中耀眼的星星一样。

（その木立の中にときおりきらきら光る露が見え、まるで霧の夜に煌く星のようであった。）

【偶然】事理上不一定要发生而发生的；超出一般规律的（跟“必然”相对）。如：

这还不足为奇，最奇的是海上偶然间出现的幻景，叫海市。

（それはまだ不思議なことと言うほどではない、最も不思議なのは海に偶然現れた幻の光景、蜃気楼というものだ。）

《近义词应用词典》より、一部説明の順序を変え短縮している。

《现代汉语词典》にも見られた“偶然”についての説明文がほぼ同じ形でこちらにも用い

られている。一方“湊巧”についても同じ《近义词应用词典》にて挙げられているがその比される相手は別の語である。

【湊巧】表示正是时候或正遇着所希望的或所不希望的事情。(正にその時であるということや、ちょうど望んでいたこと若しくは望んでいなかったことに遭遇したということを表す。)如:

事也湊巧, 正赶上西直门进水车。(実に具合のいいことに、正に西直門から水を運ぶ車が入ろうとしている場に間に合った。)

【恰巧】正巧。“恰好”着重于“恰”，恰好，正好指时间机会条件等十分恰合，含有刚刚好的意思。(ちょうど。“恰好”は“恰”に重点があり、時や機会や条件などが十分合致することを指し、ぎりぎり間に合いよかったという意味を含む。)如:

这是，恰好教导团的一位姓朱的同志由此过路，他一见到我们就跑上来说：“你们还在这里干什么？指挥部早已下令撤退了，快，到黄花岗集合。”(ここで、ちょうど軍の指導団の一人である朱という名前の人物が道を渡って来て、彼は我々の姿を見るやいなや駆け寄って言った：「お前たちまだここにいて何をやるんだ？ 指揮部はもうとっくに撤退命令を下したぞ、急げ、黄花岗に集合だ」)

《近义词应用词典》より、一部説明の順序を変え短縮している。

“偶然”は“偶尔”と比されるのに対し、“湊巧”はまた別の語との比較をされており、“偶然”と“湊巧”等の副詞を偶然性という大きな枠の中で考察するといったことが行われていない。日本語では偶然性で捉えている事象も中国語においてはそうでないという事実を通じ、“偶然”に対する考え方を見直す必要があると思われる。

3. 中国語において“偶然”を考える意味

ささやかながら中国語における“偶然”について、「行為の偶然性を表す」という仮説を立ててはみたが、しかしそもそもこれは中国語という言語を考えるにあたってどのような意味を持ちうることなのだろうか。

- 11) 私は昨日駅で偶然/たまたま彼に会った。
- 12) 我昨天偶然在车站遇见了他。
- 13) 昨日偶然/たまたま彼の財布を拾った。
- 14) 我昨天偶然捡到他的钱包。
- 15) 偶然买到了早想买的书。(前から欲しいと思っていた本が偶然買えた)

これらは先に出した例であるが、いずれも動詞が結果補語を伴っている点が共通している。それに対する日本語訳であるが、日本語の「偶然」は可能を表す事柄に対しても使うことが普通にできる。

- 16) 蝶々を一匹偶然捕まえた。
- 17) 蝶々を一匹偶然捕まえることができた/捕まえられた。
- 18) 我偶然捉住了一只蝴蝶。

中国語の[動詞+結果補語]フレーズは、日本語に訳そうとするとき、どうにもこうにも可能表現を用いないと収まりがつかないことがある。これは中国語学習経験者であれば誰もが抱くことのある感想の一つではないだろうか。たとえば15)の例はあくまで結果補語を用いている構文であって、可能表現にあたるものは原文の中国語には一切含まれていない。しかしこれを「前から欲しいと思っていた本を偶然入手した」と訳すと、成立には問題ない

が、何より「買って」入手したのかそれとも「人から貰って」入手したのか、その入手経路自体が不明瞭となってしまう。動作表現に拘りを持つということが中国語の重要な性格の一つであるからして、こういった場合日本語の可能表現を使うのが分かり易く伝えることのできる翻訳の手段ではある。更に言えば「?前から欲しいと思っていた本を偶然買った」は、入手した喜びや苦勞がいま一つ伝わり難い文であり、筆者の日本語の語感ではいささか成立し辛いように感じる。

このような偶然性と可能表現との関わりを中国語に目を移して考えてみると、日本語とは異なる姿を呈してくるようである。中国語で可能表現と言えば、助動詞型と可能補語型の大きく二つに分けられるのであるが、それらで偶然性を表そうとした場合助動詞型は用いることができない。

19) *我偶然能抱住落下来的小孩。

(私は落ちてきた子供を偶然抱きとめることができた)

20) *我凑巧 / 碰巧 / 正好能抱住落下来的小孩。(同上)

21) *我偶然抱得住落下来的小孩。(同上)

22) 我凑巧 / 碰巧 / 正好抱得住落下来的小孩。(同上)

これらの例文、道を歩いていたら道路沿いのマンションの3階の窓から子供が落ちそうになっている場面を目撃し、思わず駆け寄ってキャッチしようと腕を伸ばしたらそれが無事成功したといったような場面を想像していただきたい。助動詞“能”については“偶然”のみならず、“凑巧 / 碰巧 / 正好”など「ちょうど」を表す語彙との共起についても非文となる。可能補語を用いた22)は「ちょうど」タイプの副詞は受け付けるが、21)“偶然”はやはり成立できない。

21) *我偶然抱得住落下来的小孩。について、「これまで何度も子供をキャッチするということを繰り返したが失敗続きであったところに、その状況でまたもや子供のキャッチをしたところたまたま偶然成功した」といった場面設定をすれば成立できるようだという意見がインフォーマントからあった。しかし現実世界において転落する子供を受け止めるという事態は人の一生では普通有り得ないことで、一度だけでも(仮にそれが成功したにせよ失敗したにせよ)珍しい部類であるのに、それを繰り返し繰り返しトライするというのはかなり特殊な状況であると言わざるを得ないだろうし、22)の普通に成立できる“凑巧 / 碰巧 / 正好”の例とはやはり大きく異なると考えられる。

斯様に偶然性とは、言語で人間の動作をどう表すか(可能表現、結果表現、完了アスペクト…etc)という問題と関わってくるものである。まして中国語の“偶然”が動作そのものに焦点を当て、「ちょうど」タイプの副詞“凑巧 / 碰巧 / 正好”がより広い偶然性をカバーするという関係が存在する以上、動作表現を考察するにあたって興味深い対象と思われる。また実現・未実現と絡め、日本語では「若し今彼が偶然この場所にやって来たらどうする?」といった仮定における偶然性なども言える等、中国語の“偶然”がどこまで偶然性を表すことができるのかについて今後の検討課題である。

【参考文献】

- 《现代汉语虚词例释》商务印书馆 1986 北京大学中文系 1955 1957 级语言班编
- 《近义词应用词典》语文出版社 1987 陈炳昭编著《现代汉语词典》商务印书馆 1988 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编
- 《新编汉语多功能词典》国际文化出版公司 1989 张寿康审订 冯志纯·周行健主编
- 《现代汉语虚词词典》上海辞书出版社 1998 王自墙编著
- 《当代汉语实用词典》中国物资出版社 1993 安汝磐等编著
- 《现代汉语八百词 增订本》商务印书馆 1999 吕叔湘主编
- 《现代汉语副词探索》上海世纪出版集团 2004 张谊生
- 『講談社中日辞典 第二版』講談社 1998 相原茂主編
- goo 辞書 <http://dictionary.goo.ne.jp/> 三省堂提供「大辞林第二版」及び「デイリー新語辞典 +α」による。